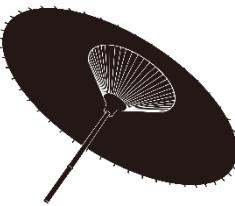


岐阜市の伝統工芸品：和傘



岐阜和傘は、良質の竹や美濃和紙、エゴマ油等、傘づくりに必要な材料が豊富であったこの地域の特性を活かし、江戸時代加納藩の領土であった頃に発展してきました。

2022年には経済産業大臣より伝統的工芸品に指定され、今後もその技術や技法が受け継がれていきます。和傘について調べてみましょう。

◆◆本で調べる◆◆

「和傘」に関する分類記号

岐阜市	G 221
加納	G 221.1
岐阜傘	G 589.3

本にはこのような背ラベルがついています。
これをたよりに本を探すことができます。

G 589.3

ギレ

分類記号については、一般版No.1を見てください。

ここに示した背ラベルは中央館の場合です。

番号が2つある資料は、2個所に資料が置かれています。

貸出禁止の場合、所蔵館に網掛けをしています。

所蔵館によって版が異なる場合があります。

■和傘について調べてみよう

書名 著者名 出版社など	背ラベル	所蔵館（場所）
『傘；和傘・パラソル・アンブレラ』 LIXIL 出版	383.4 力 G589.3 力	中央（一般、郷土） 分館
『浮世絵の美一雨と雪と傘；特別展』 岐阜市歴史博物館	G589.3 ギレ	中央館（郷土） 分館（閉架）長良
『和傘；資料選集；館蔵品図録』 岐阜市歴史博物館	G589.3 ギレ	中央館（郷土） 分館 長良 東部 西部 長森 柳津
『ふでばこ 15号；道具とものづくりから暮らしを考える』 白鳳堂	G589.3 フ	中央館（郷土）

■加納（岐阜）の和傘について知ろう

書名 著者名 出版社など	背ラベル	所蔵館（場所）
『みんなの図書館 おとなの夜学 002；川が繋いだ手仕事の物語』 ORGAN／編 岐阜市立図書館	G200.4 32	中央館（郷土、シビック）分館 長森 柳津

書名 著者名 出版社など	背ラベル	所蔵館（場所）
『岐阜市歴史博物館研究紀要 創刊号』 岐阜市歴史博物館	G200.5 ギレ 1	中央館（郷土） 分館
『岐阜市史 通史編 民俗』岐阜市 ※通史編近世および現代にも記載があります。	G221 ギシ 1	中央館（郷土） 分館 長良（事務室） 東部 西部（事務室） 長森 柳津
『加納町史 下巻』太田 成和／編 大衆書房	G221.1 力 2	中央館（郷土） 分館
『加納』加納景観まちづくり実行委員会	G221.1 力	中央館（郷土） 分館 長良 西部 長森
『濃飛見聞録 9』松田 千晴／著	G291 マ 9	中央館（郷土）
『加納の和傘』岐阜市歴史博物館	G589.3 ギレ	中央館（郷土） 分館 柳津
『竹』内村 悅三ほか／著 農山漁村文化協会	657.9 夕 G657.9 夕	中央館（一般、郷土） 長良
『岐阜傘に関する調査研究』 岡村 精次、神馬 仁太郎／著	G589.3 才	中央館（郷土）

◆◆インターネットで調べる◆◆

■岐阜市の伝統工芸（岐阜市）

<https://www.city.gifu.lg.jp/info/kidspage/1009717/1009718.html>



■一般社団法人 岐阜和傘協会

<https://gifuwagasakyokai.jimdofree.com>

■岐阜の旅ガイド「伝統から現代へ、受け継がれる岐阜和傘の魅力」（岐阜県観光連盟）

https://www.kankou-gifu.jp/article/detail_126.html

◆◆和傘の展示がある場所◆◆

■中山道加納宿まちづくり交流センター（岐阜市）

<https://www.city.gifu.lg.jp/info/shisetsu/1009631/1009638.html>

場所：岐阜市加納本町1丁目16番1（旧加納町役場跡地）

開館時間：9時～17時

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日） 年末年始（12月29日～1月3日）

お問合せ：岐阜市立中央図書館 058-262-2924

HP：<https://g-mediacosmos.jp/lib/>